

園児が陶芸に挑戦

町内5か所の保育所・園で、園児たちが粘土を使って来年の干支の申さきを作りました。

指導は知足庵窯の長井萱里ちそくあん庵さん（羽田井）。長井さんには、今年1月にも特製の粘土で干支づくりを指導していただき、今回が2回目となります。

子どもたちは、土の感触を楽しみながら、それぞれ思い思いの個性豊かな申を作っていました。



▲1人ひとり、丁寧に手ほどきを受けました

これらの作品は、長井さんの工房で色付けをされ、本焼きをして仕上げた後、子どもたちに手渡されます。

発見がいっぱい！ 『秋の大山自然観察会』



▶講師の解説に聞き入る参加者の皆さん

第5回大山学講座「秋の大山自然観察会」が11月3日に行われました。

講師に大山自然観察会指導員の鷲見寛幸さんを迎え、横手道の入り口から博労座を目指して歩きました。

紅葉に満ちた自然の中を講師の解説を聞きながら進み、途中、榊水高原からの大パノラマを満喫。また、道脇の1町地蔵や牛馬の水飲み場跡にも遭遇し、大山の牛馬信仰の歴史にもふれることができました。

皆さんも観察会に参加してみませんか。

庄内保育所って こんなところ

①家庭的な雰囲気のもと、子どもたちに心地よいと感じてもらいながら、みんなとのつながりを大切にしています。

小さい子が大きい子に絵本を読んでもらったり、遊んでもらったりする毎日です。運動会では、大好きな絵本「はらぺこあおむし」の物語をもとに、卵からかえったあおむしが、おなかいっぱい食べて最後はきれいな蝶になるまでを1歳から6歳までの子どもたち全員で演じました。



▶小さい子に読み聞かせをする年長児



▲ふるさと健康まつりで「ふじでらら」と一緒に

②地域密着の保育所として地域の皆さんの温かい見守りの中で育っています。

近くにケアハウスかずきと玉真園があります。訪問して皆さんの前で歌を歌ったり、一緒にゲームを楽しんだりします。明生会（老人クラブ）の皆さんには、イチゴ狩り、栗拾い、芋ほりなどさせていただいています。また、庄内地区の「ふるさと健康まつり」にも参加して、プレゼントをもらって大喜びの子どもたちです。

③「思いっきり遊べて、お腹がすくこと」「自分が好きで、友達も好き」を大切にしています。

朝のわらべ歌遊びと運動遊びから始まり、様々な自然とふれあえる散歩。

そして、今みんなに人気の遊びは「忍者の修行」。

〇〇ができるようになりたい！と思う気持ち、遊びの中から生活へ向かい、頑張る力になります。「忍者修行」という名を借りて、一步一步自信をつけて前進している子どもたちを誇らしく思います。

そして、自分を大切な存在だと感じ自信を持つこと、友達への思いやりを持ち、友達と一緒に育ち合うことを大切にこれからも見守っていききたいと思います。

**元気いっぱい！
みんな、なかよし！
いっぱいあそぼう！**

これを庄内保育所みんなの合言葉にしています。